

愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL http://www.airoren.gr.jp

発行人 樽松 佐一

第106号

2002年 5月15日

ストップ・ザ・有事法制！ 憲法を守る

6・2 愛知県民集会

とき 6月2日(日) 13:00から

ところ 白川公園(名古屋市中区)

悪政阻止するに役もつた



第73回

愛知県メーデーに13,000人の熱気

小泉内閣ではダメ

雇用をまもれ

医療改悪・有事法制NO!

「アメリカの起こす戦争に国民を罰則付きで動員する有事法制許すな」「いのち削る医療改悪反対」「大企業の横暴なリストラストップ！雇用を守れ」「小泉内閣打倒」…。第73回メーデーは怒りと決意に満ち、愛知県下でも8会場で開催され1万3000人が参加しました。

名古屋市中区の白川公園で開催された愛知県中央メーデーには、1万人が集まり、会場には「働くルールを確立しよう」「許すな有事立法、憲法は世界の宝」「日本の農業を守れ」「住民犠牲の自治体リストラ反対」「公務員制度改悪NO」「県民の暮らし優先の県政を、万博は中止に」などの横断幕やプラカード、創意にあふれたデコレーションなど、たたかいの熱気



景気回復できるかな？と建交労青年部



敬老バス守れと50本のノボリを準備した年金者組合



全国一般六法出版分会 阿部良夫委員長

賃金未払いという職場の問題もあるけれども、国に対しても怒りをもっている。国の問題も職場の問題も一緒に考えてみるとがんばっていききたい。

生協労連名大生協労組 猿谷高明さん

仕事が大変で、1日の営業も増え参加できない仲間も多いけど、有事法制など悪政を阻止する力をメーデーでもらってかえり職場に広げていきたい。



安城地区



東三河地区



尾張中部地区



尾張東地区



一宮地方



尾北地域



西三河前夜祭(26日)

県下7カ所で地域メーデー元気に
●安城地区メーデー
愛労評時代からの伝統的な地区労主催のメーデー。ここ数年は、愛知中央メーデーと全く同じスローガンが掲げられています。今年も、足下の悪い中でも250名が参加して、市内を元気にデモ行進しました。開催前

の西三河青年合唱団の歌声とあわせて、今年はトヨタ関連で働く仲間の力強い歌声が入り、働くものの祭典に花を添えました。
●メーデー尾北地域集会
150名が参加。一宮民商からの連帯あいさつでは、「不況の中で、統計では初診から1ヶ月以内の死亡が4割。ギリギリまで受診しないのが実

態 国民のいのちを奪う医療改悪は断じて許せない」と医療改悪に抗議しました。

「有事立法の有事って何?」「周辺事態」も同じくわかりにくい。「有事」と言わずに「戦時」と言えはつきりするではないか。「周辺事態」「近隣戦争」「通信傍受法」「盗聴法、戦時中に捨て身の特攻を「玉砕」と言い、敗退を「転進」と言ったことと同じである。有事法制の略称を「平和安全法」と言うのはたまげた。軍用語だけでは「リストラ」とは大量解雇のことであり「個人情報保護」とは政府による個人情報管理のことだ。▼小泉首相は訳のわからない諺(ことわざ)で国民をだますのが得意技だ。医療の大改悪を「三方一両損」と言ったが国は損をしていないではないか。大岡裁きでは越前が自分の懐から一両をだしている。▼先日の憲法集会で講演をした辺見庸氏は著書の「単独発言」の中でオーウェルの「新語法」(ニュースピーク)を紹介しているが、「そこで描かれている全体主義国家では、官庁や制度に冠された美名と実態が、完全に裏腹である」という。「有事」と「周辺事態」はまさにそのままだ。しかし小泉首相のは、ニュースピークならぬ「旧語法」(キョースピーク)だ。それとも二枚舌か。▼今号からコラムの欄をいただいたが、生真面目なので堅い話になりそうだが、思いつくままにキーをたたいてみる。(こ愛読者)

「有事立法の有事って何?」「周辺事態」も同じくわかりにくい。「有事」と言わずに「戦時」と言えはつきりするではないか。「周辺事態」「近隣戦争」「通信傍受法」「盗聴法、戦時中に捨て身の特攻を「玉砕」と言い、敗退を「転進」と言ったことと同じである。有事法制の略称を「平和安全法」と言うのはたまげた。軍用語だけでは「リストラ」とは大量解雇のことであり「個人情報保護」とは政府による個人情報管理のことだ。▼小泉首相は訳のわからない諺(ことわざ)で国民をだますのが得意技だ。医療の大改悪を「三方一両損」と言ったが国は損をしていないではないか。大岡裁きでは越前が自分の懐から一両をだしている。▼先日の憲法集会で講演をした辺見庸氏は著書の「単独発言」の中でオーウェルの「新語法」(ニュースピーク)を紹介しているが、「そこで描かれている全体主義国家では、官庁や制度に冠された美名と実態が、完全に裏腹である」という。「有事」と「周辺事態」はまさにそのままだ。しかし小泉首相のは、ニュースピークならぬ「旧語法」(キョースピーク)だ。それとも二枚舌か。▼今号からコラムの欄をいただいたが、生真面目なので堅い話になりそうだが、思いつくままにキーをたたいてみる。(こ愛読者)

だれでも参加できる平和行進
基地を抱える地域だからこそ

ピーススタin春日井

こうした情勢のもとでとりくまれる2002年平和行進は、5月6日に東京夢の島を出発し、5月31日から愛知県入りします。自衛隊基地を3つも抱える小牧・春日井地域で「だれでも参加できる平和行進を」と準備を進める尾中地区労連の西岡久男さん（68歳・年金者組合）に聞きました。

也

共同は10年以上前にさか
づぼり、県内でも先駆的な
役割を果たしてきた地域の
つです。

心となって構成する市民平和行進実行委員会が県段階で共同の連絡会をつくり、統一して歩かれるのは今年

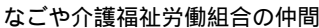
これまでも地域では共同の行進、集会やエールの交換などが行われてきましたが、小牧・春日井地域で

にそれまで勤めていた王子製紙の退職を機に県内の通し行進にチャレンジ、翌年に東京・広島コースを通し

たが、小牧・春日井地域で

にそれまで勤めていた王子製紙の退職を機に県内の通し行進にチャレンジ、翌年に東京―広島コースを通し

表中の■印は、同日同時時間帯で複数のコースがある場合の幹線コースであることを示しています。



春の組織拡大月間

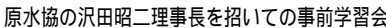
愛労連は3月15日、5月15日を春の組織拡大月間として提起していますが、単産・地域労連の奮闘によって多くの新たな仲間を迎えています。

4月14日には、名古屋市の社会福祉協議会や民間のヘルパーが「なごや介護福祉労働組合」を結成、学習会をかねた総会には40人が参加しました。「ヘルパーの仕事は利用者宅への直行直帰、悩みを話す場もなく、不安が多い」と、組合結成に多くの仲間の賛同があがりました。「賃金も低く、労働条件も悪い。改善を勝ちとつていい介護がしたい」と、さらに仲間を増やそうと決意を固めています。

新規職員の組織化では、とくに公務単産を中心に4月にいつせいにとりくみをはじめ、現在も組織化にむ

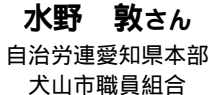
**初めての事前
学習会に45人**

今年は、6月8日に平和
行進がとりくまれますが、
「誰でも気軽に参加でき、
平和の危機を伝えられる」
ことを目標に準備を進めて
います。4月13日には初め
て事前学習会を開催しまし
た。有司法制など緊迫する
情勢のもとで、実行委員会
はこれまでにない意気込み
でとりくんで、高校生を含



NO.4 自治労連

「子どもの頃から野鳥が大好きでしたし、今もいろんな生きものを飼っています」と語るのは、犬山市観光交流課の職員として鶺鴒の飼育を勤める水野敦さん（25歳）。



奥の深い〃鵜匠〃
極めるには一生

水野さんは10年前に鶴匠の見習いとして犬山市に就職。同時に定時制高

校に入学し、通いながら修行して、6年前から鵜匠として漁も行っています。犬山の鵜飼は海岸で捕らえられた海鵜を使っていますが、水野さんらが家族同然に愛情を注いで飼いならし、訓練を重ねて「鵜飼の鵜」に育てていきます。野生

出しているので、雨で増水すれば真夜中でも船上げに駆けつけなければなりません。週休もたまつてしまい大変です」と言います。しかし、「お客さんとのふれあいもあつて、やっていて楽しいし、毎日おなじことの繰り返しのおかげで、本

の海鵜は、季節ごとにロシアと日本を渡り4年から5年の寿命ですが、犬山の鵜は10年から20年の寿命があります。

やしくなでる姿が印象的
でした。

長良川に比べて木曽川
の水は冷たいことから、
犬山鵜飼は半月遅れの6

厳しいけれど……

「生きもの相手だし、シーズン中は鵜船を川に

日本ライン観光犬山橋営業所
0568(61)0057

住輕金團體保險裁判

住友軽金屬工業（本社・東京）と子会社であるスミケイ運輸（本社・名古屋市港区）の元従業員の家族らが、会社が受け取った団体定期保険の保険金を遺族らに支払うよう求めた3つの裁判が4月24日と26日に判決を迎えました。

った近藤裁判で、名古屋高裁は一番判決を取り消す不当判決を下しました。遺族で娘の麻子さんは「判決を認めたら父の命は会社のものとなってしまふ」と妻の弘子さんとともに最高裁へ上告してたなかう決意を語っています。

同じく名古屋高裁での荒

木・川本・松本裁判は、基本的に一審を支持し、会社
に保険金の支払いを命じま
したが、会社は判決を検討
することもなく上告を表明
しています。名古屋地裁で
のスキレイ運輸を相手取つ
た園山・高野裁判では原告
の請求を棄却する不当判決
が出されています。

年金者組合本部
委員長 中川礼治

いつも運動全体を見渡して新聞を作る、作ったニュースが運動を励ます。これが彼の生きがいでした。語り合うほどに、何かホツとした雰囲気醸し出す周りをいつも元気にしてくれる彼でした。「目んたま黒い内に、5千、1万の年金者組合を」と言っていたの思い、いや執念をなんとしても実現し、彼の志に報たいと心に決めたメーデーでした。

(前愛労連幹事・駒田伝雄さん) 4月22日、交通事故で永眠